



成田 和明さん

(21歳・種)

郷土芸能

僕は種梅の郷土芸能をやっています。やり始めたきっかけは、祖父がやっていたからです。そして物心がついた頃には種の公民館で踊っていました。

最初は夜の練習がとても楽しくて仕方がなかったけど、中学、高校に入ると、やらされている感がとても強く、やめようと思ったこともありました。しかし今は続けていてよかったです。

毎年、お盆に1日獅子舞をやっていますが、今年は11月3日に、きみまち阪で踊る機会がありました。その日は二



きみまち阪で行われた、郷土芸能合同発表会で

ツ井町の色々な郷土芸能の踊りを見ることができて、とても勉強になりました。やはりどの地区も後継者不足に悩んでいるようでした。僕の地区も若い人は決して多いとは言えません。だからこれからは教わる立場ではなく、小学生に教える立場になり、踊りだけではなく、郷土芸能の楽しさを伝えていけたらいいなと思います。

次は、比井野の田口直樹さんにバトンタッチです。

拝啓ふるさと様

〜東京二ツ井会会員からふるさとへの熱いメッセージ〜



帰省の折、阿仁町「安の滝」にて

伊藤 義昭さん  
(苅又石出身)  
静岡県御殿場市  
在住

この度、東京二ツ井会第20代親善大使として、二ツ井高校、二ツ井中学校、富根小学校に書籍を届けにまいりました。これまで幾度となく帰郷しておりますが、ほとんど実家と自宅の往復でした。今回は、二ツ井庁舎をはじめ、新体育館、町内のあちこちをご案内いただきました。新しい故郷を発見できたように思い、良い機会を得たことに感謝しておるところです。故郷を離れて45年になりますが、1日たりとも忘れることはありませんでした。この間、国立公園のご真ん中、ここ御殿場に住み着き、前に富士山を仰ぎ見、後ろに箱根芦ノ湖、その東方に熱海伊豆半島、観光にこと欠かない景勝地ですが、住み慣れれば何のその、通り過ぎてゆく風のようなものに感じられるようになります。「ふるさと」の山に向かいて言つことなし、ふるさとの山はありがたきかな」という実感も年とともに強くなってきました。今回帰郷の折り、あらためて故郷の山々を眺め、あまりの静けさにブルブルと身震いしました。遠くからかすかに農耕のエンジンらしき音が耳にとどくだけ……。昔の光景だ。「ふるさと」は時々帰って慕うものなり……。と、付け加えておくことにします。こういふ自然の良さを残しながら、変化、発展している我が故郷は、やっぱりいいなあ……。



11/1

ニッ井町総合体育館  
オープニングセレモニー  
7月に完成した総合体育館の一般供用が11月から始まり、1日にオープニングセレモニーを行いました。終了後はトレーニングルームの説明が行われ、参加した方々は、専門の指導員から最新のマシンの使い方、指導を受け、実際に使用してその効果を体験しました。



10/29

陸上自衛隊第9音楽隊  
コンサートinふたつ  
総合体育館で開催された陸上自衛隊第9音楽隊によるコンサート。行進曲や映画音楽、時代劇の主題歌など様々なジャンルの楽曲を演奏し、アンコールでは、マツケンサンバを披露するなど、客席を埋め尽くす大勢の聴衆も手拍子でコンサートに参加しました。



11/17

ニッ井町  
社会福祉大会  
第33回ニッ井町社会福祉大会が総合体育館で開催され、社会福祉功労者への表彰や仁鮎小、ニッ井中の児童・生徒による体験発表などが行われました。その後は講演や介護予防についてのビデオ上映を行い、参加者は社会福祉の充実と向上を誓い合いました。



11/13

全県ミニテニス  
交流大会  
町村合併50周年記念および総合体育館竣工記念として開催された全県ミニテニス交流大会。会場の総合体育館には県内から35団体が集まり、予選リーグ、決勝トーナメントで熱戦を繰り広げ、コート上では参加ペアが息のあったプレーでポイントを重ねていました。



11/20

第27回  
ニッ井町婦人祭  
「環境との調和を考える」をテーマに開催された第27回ニッ井町婦人祭。今回は総合体育館を会場に行われ、参加した会員や家族は、暮らしたアイデアとリフォーム展や男女共同参画の講演、各地区婦人会によるコカリナ演奏や踊りのアトラクションなど、盛りだくさんの企画で婦人祭を楽しみました。